



# 第五二回秋田県消防操法大会

## 美郷町消防団が二連覇達成



題 字  
初代会長 松野 盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中田 潤  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

第五二回秋田県消防操法大会は九月四日(金)、秋田県消防学校放水訓練場(由利本荘市岩城)において行われました。

大館市消防団 浅利重博副団長の総指揮により選手が入場、引き続き開会式が行われ、前年度の優勝団から優勝旗が返還された後、堀井啓一秋田県副知事並びに中田潤 秋田県消防協会長が主催者のあいさつを述べました。

また、多数のご来賓を代表して、秋田県議会副議長 近藤健一郎様からご祝辞をいただきました。

保坂雅弘秋田県消防学校長から審査長指示があり、昨年度総合優勝の能代市山本郡支部三種町消防団 信太良行班長が選手宣誓を行いました。

県内九支部の予選を勝ち抜いた小型ポンプ操法の部九分団、ポンプ車操法の部七分団が出場し、日ごろの訓練の成果を競いました。

小型ポンプ操法の部では、美郷町消防第二分団が昨年の大会に続き二連覇を達成、なお、秋田市消防団外旭川分団が昭和五二年大会以来の三位入賞を果たしました。

また、ポンプ車操法の部では、鹿角市消防団第五分団が横手市十文字消防団第三分団を抑え、平成元年大会以来鹿角市消防団に優勝をもたらしました。

競技の結果(優秀選手賞を含む)は別記のとおりですが、軽可搬ポンプ操法を披露した大仙市女性消防隊には、一〇月一五日に開催される全国大会での健闘を期待しております。



平成二十七年全国統一防火標語

無防備な 心に火災が かくれんぼ

平成二十七年秋の火災予防運動  
十一月一日(日)～十一月七日(土)

# 競技審査の講評

◎大会審査班長

秋田県消防学校 佐藤 純人

■ 総 合

強風のためコースによって、標的を倒すまで時間を要した隊もあったが、明らかに圧力不足、ノズル操作不足により有効注水ができなかった隊も見受けられた。全体的にレベルは上がってきているが、結合やノズル操作要領、器具愛護に欠ける等、基本的な動作が雑な印象も受けた。

■ 小型ポンプ操法の部

全国大会を見据えて、確実にレベルは上がってきている。ただ、半数近い隊で、規定外圧力送水があったので、安全、確実な操作を心がけてほしい。

■ ポンプ車操法の部

全体的にホースライン(展張、延長要領)が雑であり、ホースの引き



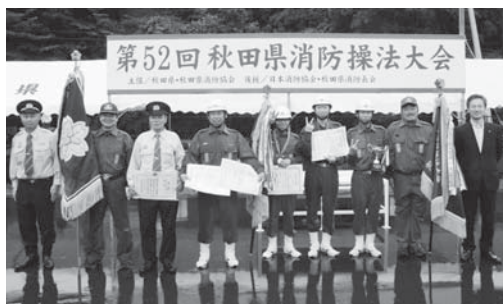
審査員の皆さん

ずり等、器具愛護に欠ける隊が多く見受けられ、規定外圧力も数隊ある等、改善する課題が多いため、このように、おぼろしいかと思

## 第52回秋田県消防操法大会成績表

【小型ポンプ操法の部】

順位	消防団名	タイム(秒)	総得点(点)
優勝	美郷町消防団第2分団	42.92	90.5
第2位	横手市山内消防団第1分団	44.99	82.5
第3位	秋田市消防団外旭川分団	46.05	79.0
優秀賞	三種町消防団山本支団第4分団	43.83	78.0
	羽後町消防団第8分団	45.04	75.5
	小坂町消防団第4分団	54.90	73.5
	由利本荘市消防団東由利支団第3分団	44.60	71.0
	潟上市消防団飯田川支団第2分団	57.81	71.0
	大館市消防団大館第9分団	50.94	56.0



美郷町消防団 第2分団



鹿角市消防団 第5分団

【ポンプ車操法の部】

順位	消防団名	タイム(秒)		総得点(点)
		第1線	第2線	
優勝	鹿角市消防団第5分団	53.26	63.73	170.5
第2位	横手市十字消防団第3分団	61.15	76.77	166.5
第3位	大潟村消防団第1分団	53.74	67.37	165.5
優秀賞	三種町消防団琴丘支団第1分団	54.60	73.03	165.5
	秋田市消防団保戸野分団	72.14	67.95	153.0
	にかほ市消防団第3分団	57.05	68.26	152.0
	大館市消防団田代第2分団	57.66	73.80	146.0



優秀選手の皆さん

【優秀選手賞】

区分	小型ポンプ操法		ポンプ車操法	
	消防団名	氏名	消防団名	氏名
指揮者	小坂町消防団第4分団	亀田 憲人	鹿角市消防団第5分団	関 清考
1番員	美郷町消防団第2分団	熊谷 勝明	横手市十字消防団第3分団	柴田 辰哉
2番員	横手市山内消防団第1分団	鶴田 修	三種町消防団琴丘支団第1分団	國柄 清樹
3番員	美郷町消防団第2分団	高階 充	横手市十字消防団第3分団	佐々木義武
4番員			横手市十字消防団第3分団	奥州 義明



選手答辞



表彰

# 操 法 披 露

## ◎軽可搬ポンプ操法

### 大仙市女性消防隊

平成二七年度に開催される、第二回全国女性消防操法大会に出場が決定している大仙市女性消防隊の軽可搬ポンプ操法が、昨年度に引き続き披露されました。

- 指揮者 一色 順子
- 一番員 畠 山 忍
- 二番員 相馬 静華
- 三番員 佐藤 久子
- 四番員 深澤 貴子



# 優秀選手の紹介

## ■小型ポンプ操法

指揮者

亀田 憲人



一番員

熊谷 勝明



二番員

鶴田 修



三番員

高階 充



## ■ポンプ車操法

指揮者

関 清考



一番員

柴田 辰哉



二番員

國柄 清樹



三番員

佐々木義武



四番員

奥州 義明



# 全国消防殉職者慰霊祭

(公財)日本消防協会

第三四回全国消防殉職者慰霊祭は、九月一日(木)午前10時から日本消防会館ニッショーホール(東京都港区虎ノ門)で行われ、秋本敏文日本消防協会会長の式辞に続き、安倍晋三内閣総理大臣、高市早苗総務大臣らが追悼のことばを述べられました。

全国の殉職者数は、新たに合祀された六柱を加え五、六八八柱となりました。



御霊の奉納



安倍 総理

## ■本県から出席したご遺族

殉職者氏名	高橋 久志	遺族氏名	高橋 榮
	池田 京三	高橋 牧子	能登 悟
	能登 美保子		



ご遺族と中田会長



秋本日消会長



鎮魂の歌 (木遣り)

秋 田 県  
消 防 学 校

初任教育第六九期修了式

七八名修了第一線での活躍を期待

秋田県消防学校第六九期初任教育の修了式が九月一八日(金)、同校の屋内訓練場で修了生のご家族やご来賓約二八〇名が出席して行われました。七八名の修了生は、六ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、それぞれの所属消防本部に着任し、消防士として活動することになります。



修了式は、最初に保坂学校長が修了生一人ひとりに修了証書を、また、成績優秀者に表彰状を授与した後、学校長式辞、知事あいさつ、来賓祝辞と続き、修了生が答辞を述べ、最後に校歌を斉唱して終わりました。

表彰状授与

優 秀 賞(七名)

- 大館市消防本部 奈良 大耶
- 由利本荘市消防本部 三浦 圭悟
- 五城目町消防本部 中道 聖也
- 能代山本広域市町村圏組合消防本部 伊藤 二十
- 能代山本広域市町村圏組合消防本部 工藤 秀平
- 能代山本広域市町村圏組合消防本部 藤田 拓真
- 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 富岡 卓矢

功 勞 章(五名)

- 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 高橋 宏和
- 秋田市消防本部 田口 宗人
- 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 武田 俊高
- 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 齊藤 創史
- 秋田市消防本部 鈴木 央

学校長式辞



秋田県消防学校  
学校長  
保坂 雅弘

本格的な消防人生を歩み出すにあたって、二点ほど心構えについてお話しします。

一点目は、「熱い心とクールな頭で仕事に立ち向かえ」ということです。現場においては、皆さんが消防の道を志した「人を助けたい、命を守りたい」という熱い心を持ちつつ、頭脳は常に冷静に、的確に状況を判断して、事態に立ち向かってください。

二点目は、「雑務を厭うな」ということです。二四時間体制で災害に備える消防組織には、いわゆる「雑務」がたくさんあります。若い職員が担わなければならない雑務が相当あるはずですが、しかし、そうした「目立たない部分の仕事」が組織を支えているのです。組織の中における自己の立場を自覚し、組織の一員として、与えられた仕事を誠実に遂行してください。

自ら選択した消防人生です。初心を忘れることなく、夢を持ち続け、信念を貫き、勇気を持って職責を果たしてください。各消防本部では、皆さんの若い力に大いに期待しています。

修了生答辞



湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部  
消防士  
高橋 宏和

春、夏、秋と季節も移り変わり、いよいよこの消防学校を巣立ち現場で活躍する 때가 きました。

近年では、地震や異常気象による大雨、土砂災害など各種災害による悲惨なニュースは後を絶ちません。こうした中で、私たちは地域住民の生命、身体及び財産を火災から保護し水火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、困っている人を助けたいという初心と使命感を忘れず消防業務に尽力して参ります。

この半年間、この消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓い、答辞といたします。



第69期教育  
初任教

半年間を  
振り返って

秋田県消防学校

秋田市消防本部 鈴木 央

同じ目標を持った六九期の仲間と、それに向かつて必死に頑張れたこの半年間は、私自身の今後の消防生活にとつて本当に貴重なものとなりました。関わって頂いた全ての方々に感謝しています。

大館市消防本部 奈良 大耶

経験することによって知識、技術、判断力は身に付くものだと思います。

この半年間、私は様々な経験を積むことができました。その機会を与え、支えてくれた仲間、家族、全ての人に感謝し、これから先も頑張っていきたいです。

北秋田市消防本部 佐藤 健翔

今思うのは、「あつという間だった。」ということ。仲間と過ごした時間全てが思い出です。

今後、何かのきっかけで、またみんなが集まれたらどんなに幸せか。それを考えると頑張れます。

由利本荘市消防本部 三浦 圭悟

期待と不安で胸がいっぱいの中、学校生活が始まり、風が吹いたかの

ように半年が過ぎました。座学に訓練と辛く厳しい日々。

私達は、学校生活を終えて、消防士としてのスタートラインに立ったと同時に、消防人生の土台を作る事ができたことと思います。

にかほ市消防本部 安倍真一郎

経験者として消防学校に入學し、不安でいっぱいでしたが、逆に学ぶことが多く、訓練や座学を通して新しい知識を身に付け、体力も向上することができました。

同時に、自分の置かれている立場を再認識でき、消防士としての技術を向上させる良い経験ができました。

横手市消防本部 佐藤恵太郎

消防学校に入校し、消防という職業に対して自分の考えが甘かったことに気づかされました。

同期の仲間達と学んだ知識、技術は一生の宝物であり、いずれ直面するであろう厳しい現場でも生かしていきたいと思います。

五城目町消防本部 中道 聖也

初任教育での半年間は、厳しくも楽しい実りある期間でした。毎日の座学、訓練、体力錬成で消防士としての基礎を築くことができました。

ここで出会った最高の仲間は一生の宝物です。この場で満足せず、長く続く消防人生、より一層精進していきます。

能代山本広域消防本部 工藤 拓真

初任教育で過ごした日々は、辛く厳しいものであったが、仲間がいたからこそ乗り越えることができた。ここで学んだことを生かし、消防職員として、一回りも二回りも成長していきたいです。

鹿角広域消防本部 木村 匠

様々なことがありました。一人前の消防士となるべく受けた訓練や座学は、専門的でどれも新鮮なものでした。所属に戻っても、ここで学んだことは、生かされていくと思います。初任教育は大変意義のある学舎でした。

湖東地区消防本部 畠山 卓真

消防学校での半年間は、厳しい時もありましたが、六九期の仲間と乗り越えることができ、人として大きく成長できました。

この学校で学んだ知識と技術を生かして、所属に戻っても日々努力していきたいと思っています。

男鹿地区消防本部 鈴木 智裕

消防学校に入校し、期待や不安を持ちながら学校生活が始まりました。

仲間と切磋琢磨し、人として、消防職員として成長できました。

各職場に戻り環境は変わるが、学校で学んだことを生かし、一人前になれるよう努力したいと思っています。

大曲仙北広域消防本部 富岡 卓矢

消防学校での生活は毎日が充実しており、入校したのが昨日のように感じます。この半年間、生活を共にした初任科の仲間と離れるのは寂しくも思いますが、また会えることを信じ、これからの消防人生を頑張りたいと思います。

湯沢雄勝広域消防本部 高橋 宏和

一年間の実務研修を経て初任科を修了したが、職務を遂行するにあたっての根拠を突き止めることができたと感じます。また、大切な仲間や教官の協力を得て、総代という役職をこなすことができましたことに感謝しています。

地域の防災、災害対策に貢献!



猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)  
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

# 第11回 消防団員 意見発表会(三)



武石 吉廣

湯沢市消防団  
副分団長  
勤続二十八年  
農業

副分団長として団員の統率力と、現場における判断力に定評があり、部下団員から広く慕われている存在である。

## 「テラスハウスから発動」

私の住む川原地区は、三戸の小さな集落で湯沢市の中核医療施設といえる雄勝中央病院の近くにありません。消防団活動として、これといった自慢できる活動はしていませんが、川原防災会が平成二〇年に設置されたことを機に、その原動力として共に活動しています。

設立当初、「自分たちの集落は自分たちで守る。」という共助を基本に、初回の訓練では市役所の了解を得て、普段使うことができない消火栓を使用し、直接消火用ホースを接続した放水訓練を行いました。これは雄物川に架かる橋が地震で崩壊し、消防署からポンプ車が到着できないという想定で行ったもので、で

きるだけ早く放水するということから小型ポンプ車を使用せず、消火栓にホースを直結し消火栓鍵の回転により放水量を調節し放水するという、貴重な体験をさせて頂きました。また、集落公民館の火災総合訓練では、補助事業で戴いた避難用リヤカーを活用し安全な場所に要配慮者を搬送しました。さらに避難するうえで、逃げ場の少ない最悪の状態である一月の積雪期に全戸が集合する総会を想定し、一ヶ所しかない避難口から全員が避難できるように避難通路に火災の噴出を遅らせるために襖を数枚取り外し、即席の防火壁を作るなど、それぞれに任務分担を行い安全に避難させるという訓練も行いました。

訓練時に最悪の状態で行えば、それより条件の悪い状態はなく、数ヶ所の逃げ道が必ずあるという考えが浮かび、冷静な行動がとれるようになると思っています。

このような想定を話し合う場所が、我々のテラスハウスともいえるビニールハウスです。団員の誰かが「今度の土曜やりませんか」の声に、反応よく「ヨシ」「ヨシ」「ヨシ」の返事が返ってきます。たいがい言い出しっぺがその準備にあたりますが、不思議と楽しそうに準備しているようで、集まる機会が少なくなる冬場は仲間が恋しくなるようです。

昨年の二月にテラスハウスで、鱈汁をメインに焼き鳥を焼いた時には、ハウス内に煙が充満するは、暖房は切れるはで、濃煙と耐寒訓練を兼ねた打合せとなり、大事な議題が煙に巻かれた一夜でした。

数年前にこのような打合せが発端となり、川原防災会と協力して住宅用火災警報器を共同購入してもらうこととなりました。当時値段も高かったことから、共同購入により値引きが可能なため、七割近くの世帯に購入していただきました。その後、全戸に設置してもらいたいことから、その趣旨を説明し二回目の共同購入を実施し、我々の目標であった一〇〇%の設置を実現することができました。

しかしながら、その一〇〇%の意味に疑問を生じた火災が発生しました。今年の五月一日に須川地区で一家七人が死亡するという全国でも類を見ない悲惨な火災でした。

新聞報道では住宅火災警報器が設置されていたという内容でしたが、その数、設置場所など詳細は分かっているようではありません。たとえ一個だけの設置だとしても、二階の寝室に設置されていれば五人の若い家族だけでも犠牲は免れたのではないかと思われ、悔しさと虚しさがこみ上げてきます。

私たちは、川原地区の住宅用火災

警報器の設置率が一〇〇%と安心していましたが、全世帯が購入しただけで、法令による適正な個数、そして適正な場所へ設置しているかまでは把握していません。尊い命を守ることができない住宅用火災警報器の本当の設置率一〇〇%にするために、地域の皆さんと今まで以上の触れ合いを持ち、情報とアルコールを酌み交わしながら川原防災会の原動力、そして共助の要である地域の消防団として、テラスハウスから、また新たに「ヨシ」「ヨシ」の連呼とともに発動する覚悟です。



内田 正範

鹿角市消防団  
部長  
勤続二十二年  
会社員

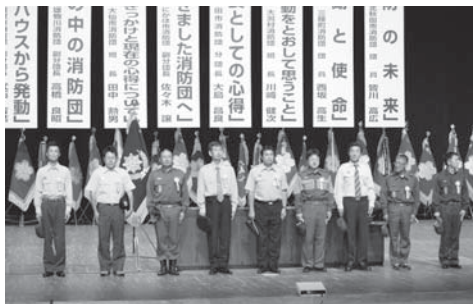
同年代の団員が多く、自己犠牲の精神で率先して消防活動に取り組む姿勢は高く評価されている。

「つなげよう、伝えよう、人からひとへ！」

「水はまだか！早くしろ！」  
煙と刃り一面真っ赤な火事場はまるで戦争です。子どもの頃からの記憶で、私の暮らす小さな集落で三件の火災がありました。当時は、器具・設備がまだ古くエンジンがかからず、何回もスターターの紐を引っ

張らなければならぬようでした。その火事現場には、いつも父の姿があり、退団してもそこには父の姿がありました。「自分も大人になったらきつとこういふふうになるんだろな」と子どもながらに思ったものでした。

私の消防団活動は、操法大会でした。「かしら中」と首を動かし、挨拶をする。人が変わる度に「気をつけ!」「整列休め」を繰り返して、被ればべちゃんこになる帽子を被せられ、炎天下なのに長袖の上下紺色の服を着て、ひたすら立ち尽くす。後ろの方では、暑さで二、三人が倒れ、テントまで運ばれていく。一体何なんだ、この集団は・・・大丈夫か?私は「きつと何かの罰ゲームに違いない」と思いました。操法大会練習後の夜には、絶対とれないであろう焦げたホルモン鍋をひたすらこすり、ギトギトになったコップを洗い、傍らでは、とても楽しそうに酒を飲んでいる。一体何なんだ、この集団は・・・大丈夫か?



そんな二二歳から始まった消防団活動も、今年で二一年目になり、入団したての頃が今では懐かしく思います。操法大会にも出場するようになり、最初のうちは不安・緊張・疲れて全く動けなかった大会も、今では一五回ほど選手・指揮者として出場し、毎回いつになったら選手から解放されるのかと思いましたが、今年やっと解放されました。しかし、今日の発表があるため、結局は解放されませんでした。選手として出場する度に、自分の中でプチ目標を決め、それが本番で出来た時は、普段の生活では成し得ない充実感がありました。悔いが残る時もありますが、共に訓練した選手やサポートしてくれた団員と訓練期間を終えた時には何とも言えない達成感になります。

現在、私の暮らす集落には九名の団員がおり、それぞれが仕事・家庭を持ちながら、少人数で各種消防団行事をこなしており、一人でも欠ければ本当に大変であり、個々にかかると負担も大きなものです。それでも皆、何も言わなくても時間を見つけ、番屋の雪下ろしや周辺の除雪などを率先してやってくれます。

しかし、高齢化が進み、若い人がいないため、入団予定もなく続けていくことができるかが深刻な問題となっています。操法大会など行事への参加も大変ですが、身近にある消



防団としてもっともつと大切な何かがあるのではないかと感じます。団員の確保が困難な現在では、総力が落ちないように工夫が必要です。機能別消防団や地域自主防災会などと連携し、みんなで守るというスタイルで火災や災害の情報などを、知らない人がいないように常日ごろ共有しあい、地域の繋がりをもち、そして小さい集落だからこそ伝えていかなければならないこと、繋がらなければならぬ場面、それを我々消防団が担っていくなければならぬと思います。

最後に、入団していなければ作れなかった人脈、出会い、そして活動の時間を快く送り出してくれる家族に感謝しながら、これからも充実した消防団活動ができればと思います。

◆ 秋田県の地域別設置率 ◆

☆地域名は、消防本部等の略称で表記

地域名	設置率	地域名	設置率
秋 田 市	84%	由 利 本 荘 市	78%
能代山本広域	90%	湖 東 地 区	84%
横 手 市	65%	大曲仙北広域	73%
大 館 市	81%	北 秋 田 市	87%
男 鹿 地 区	64%	に か ほ 市	80%
湯沢雄勝広域	75%	五 城 目 町	77%
鹿 角 広 域	74%		

住宅用火災警報器の設置  
状況について：総務省消防庁

総務省消防庁では、平成二十七年六月一日時点での設置率を公表しましたので、その概要をお知らせします。

秋田県の設置率は七八・九%で、前回(平成二六年六月時点)の設置率・七八・五%に比べ、〇・四ポイント上昇し、都道府県の順位では二九位となっています。

また、全国平均は八一・〇%で、最高が福井県の九四・九%、最低は沖縄県の五九・三%。全国平均を上回っているのは一九都道府県、二八県が全国平均を下回っています。

支部情報アラカルト

キラリ輝く「女子力」女性

消防団員が主役です

秋田市消防団

私達、秋田市女性消防団員は市政番組「わがまち大好き秋田市長です」に出演しました。

映像のポイントとしたのが、小さなお子さんのいるお母さん向けの救命講習です。このような講習会に關しては、子ども連れだと参加しにくい、子供が大きくなってから受講したいと相談を受けることがよくあります。

しかし、子育てを経験した私達は、そのようなお母さん達にこそ、積極的に受講して

いただき、安心してほしいと思います。そこで消防本部に相談し、お母さん達を対象とした「子供



と一諸・ワイワイ講習会」を実際にやってみると「同じ立場同士であれば参加しやすい」、「お互いに子供の面倒を見ながら交代で実技

することができると、とても喜んでいただいたところです。

女性だからこそ

できる発想が、新しい安心や、子供の安全に繋がることを、広く知っていただく機会になったと思います。



〔情報提供〕秋田市支部

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成27年		平成26年			同期比較	
	9月	累計	9月	累計	年計	9月	累計
建 物	13	145	10	154	199	3	- 9
林 野	0	37	1	46	46	- 1	- 9
車 輛	3	33	2	25	29	1	8
その他	2	67	2	62	77	0	5
合 計	18	282	15	287	351	3	- 5
死者数	1	31	0	27	35	1	4
負傷者数	7	61	5	58	61	2	3

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター  
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57

TEL (0185) (52)6494

(52)6361

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32

TEL(0183)(42)2125

〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号

TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)